

掻痒感を客観的に評価するためのデバイス

主たる提供特許	権利者	国立大学法人長崎大学
	題名	掻破動作検出爪及び掻破動作定量評価装置
	番号	特願2021-028556

人工爪型デバイスを用いて痒みを定量化するためのデバイスを提供します。

技術概要

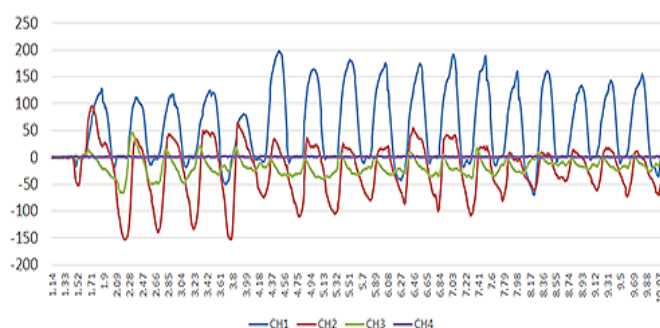
発明概要

アトピー性皮膚炎などの掻痒性皮膚疾患に対し、ヒトは上肢(特に手指)による掻破行動をとります。しかし、これまで掻痒感(強度)を客観的に評価する方法は確立されておらず、患者と医師の主観的評価に頼らざるを得ませんでした。本技術では、ひずみゲージを内蔵した人工爪を用いて掻痒感の強度を客観的かつ定量的に捉える評価法を提供します。

評価用デバイス(人工爪)のイメージ



掻破行動によって得られる波形



効果

- ・アトピー性皮膚炎等の患者の感じる掻痒感の度合い(掻痒度)を客観的に評価できます。
- ・患者が無意識に掻破行動を行っても掻痒度を定量化することができます。
- ・掻痒性疾患の重症度や病態を客観的に評価できることで、適用する内服薬や外用剤等を適切に選定することができます。
- ・掻痒性疾患の新薬開発への貢献も期待できます。

応用分野

実用化例

- ・掻痒感の強度を客観的かつ定量的に捉える評価装置

企業へのメッセージ

共同研究先企業、技術移転先企業を探しています。